

## 2020年度 公益事業一覧

### 1 自主研究会事業

1	継続3年目	松田 正己	生存の理法の新たな展開に関する研究 ―世界の動向から―
2	継続2年目	後藤 幸織	人間の進化と生存から観た依存症
3	継続2年目	采女智津江	医療・福祉・教育におけるサービス利用者側のモラル意識と葛藤の実際―倫理的葛藤の解決に向けて―
4	継続2年目	堀内 勉	資本主義と持続可能な人間社会の可能性
5	継続2年目	高木美也子	介護現場をIT技術で効率化するための調査・開発研究
6	継続2年目	森本 兼曩	健康価値創造研究会
7	新規	渡邊多恵子	生存科学に資するコミュニティエンパワメントに向けた多職種連携のあり方と課題
8	新規	鶴若 麻理	アドバンスケアプランニングの議論からわが国の患者主体の医療を再考する
9	新規	井藤 佳恵	重度慢性の精神障害を抱える者の身体合併症医療にかかわる倫理的課題
10	新規	清水 美香	森とレジリエンス～地域の再生～
11	新規	等々力英美	やんばるの森：沖縄における地域共生・精神文化・環境保全の役割と再生の研究

### 2 助成研究事業

#### 1) 研究助成

##### (1) 地域の医療・ケアにおける倫理支援の実践に関する研究

1	青木 秀哲 (和歌山県立医大)	障がい者目線から見た健常者の倫理観についての研究
2	大貫 優子 (東海大学医学部)	臨床倫理コンサルテーション事例共有体制の構築
3	長尾 式子 (北里大学看護学部)	地域在宅医療における倫理支援活動
4	本家 淳子 (浜松医科大学医学部)	地域医療・ケア領域における倫理的課題の特徴と支援内容の検討
5	三浦 靖彦(東京慈恵会医科大学附属柏病院)	地域の医療・介護職の倫理的ジレンマを同定し、その対策を講じる

##### (2) 被災地支援に関わる防災学的研究

1	一般社団法人 森の防潮堤協会	東北被災地における津波減災を目的とした「生存科学の森」づくり
2	遠矢純一郎 (医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニック)	大規模災害に備えた在宅療養者・家族のための地域対策
3	坪内 暁子 (順天堂大学医学研究科)	男女共同参画の視点に立った国際都市新宿における地域防災

##### (3) その他 (研究助成)

1	千葉 宏毅(北里大学医学部)	在宅ケアで生じる「家族の世話になることの負担感」に対応した患者・家族の実践知とプロセスに関する混合研究
---	----------------	---

#### 2) 公開講座・フォーラム等開催助成

1	本田美和子 (国立病院機構東京医療センター)	高齢者ケアに関する市民講座(ユマニチュード市民公開講座)
2	神谷 恵子 (神谷法律事務所)	あるべき感染症法等への提言
3	隈本 邦彦 (江戸川大学)	患者安全への提言シンポジウム

### 3 生存科学叢書出版助成

生存科学研究所 学術誌ならび出版委員会 (責任者：藤原 成一)	府川 哲夫 日本の高齢化問題の実相―エビデンスに基づく思考で未来を変える― 藤原 成一 ウェルビーイング学入門 ―場所・関係・時間がつくる生― 宮脇 朗、日置道隆 編 新しい防潮堤 ―防災地再生の処方―
---------------------------------------	---

### 4 シンポジウム

第8回生存科学シンポジウムの開催
------------------

### 5 その他公益事業

1	学術誌「生存科学」発行 年2回	シンポジウム報告書(第7回シンポジウム)
2	広報活動	生存科学ニュース、ホームページ管理、広報委員会等
3	委員会活動	選考委員会、倫理委員会、自主研究・助成研究交流会およびヒアリング等